

# この基地に、ここ10年間で5486億円の税金が投入されました！

## 軍用機は一五〇機、嘉手納も凌ぐ巨大基地に！

### こんな基地との共存を、市民は望んでいません。

2017年の基地開放でお越しの皆さん！いよいよ今年、この基地が沖縄・嘉手納を凌ぐ巨大基地として強化されます。沖縄からは既に空中給油機が移転し、今年中には厚木基地からスーパーホッネットなど空母の艦載機6機もやってくるのです。そのためこの基地には、税金5千億円以上を投入しあらゆる軍事施設が新設されました。今日はそんな、大きく新しくなった岩国基地をしつかり見てきて下さい。それは決して、「基地との共存」と綺麗ごとで言えない姿です。

今年2月、通告されたとおり10機のF35Bステルス戦闘機が岩国基地に配備されました。続けてE2D早期警戒機5機の配備や、まもなく厚木基地からスーパーホッネットなども続々移転してくる予定です。

その為の施設建設工事も今は山場を越え、基地内の何処を見ても最新の巨大施設が完成しています。この現実を市長は「基地との共存」という言葉を使い、危険な軍事施設と、一蓮托生の、街づくりを築いて走っています。今の海兵隊部隊に厚木から来る海軍の三八〇〇人が加わると、結局この基地には一万人余のアメリカ人が住み着くことになり市民の1割は軍関係者となります。



岩国基地の全景(2016.10撮影)



が、マ前大統領を護衛するF35(2016.5)

その軍関係者は地位協定でテラックスな日常生活が保証され、それに反して市民には屈辱的な生活が強いられます。

一方、先月来朝鮮半島情勢が緊迫していますが、ミサイルが岩国基地に飛んできたら…とマスコミ報道が反乱し市民のストレスが増大しています。全くこんなトバッチリまで出てくる「基地との共存」など返上したいものです。

さて今日の開放行事で米軍は滑走路近くに有料観覧席を設け、一枚七千五百円から四千五百円で四五〇〇席を売り出し即日売したそうです。つまり、米軍はこれだけで二千万円以上を懐にしたわけです。好き放題で市民の上に君臨する米軍、これが「フレンドシップデー」の生の現実です。

# この4年間、岩国基地に飛来した「米軍機」48機種の一覧

							
F-35B ステalth戦闘機	FA18A ホーネット	FA18C ホーネット	FA18D ホーネット	EA6B プラウラー	AV8B ハリヤーII	KC130J 空中給油機	UC12W ヒュロン
							
MV22 オsprey	UC35 サイコーン	UH1Y 汎用ヘリコプター	CH-53E	C20 ガルフストリーム	FA18E スーパーホーネット	FA18F スーパーホーネット	EA18G グローラー
							
E-2D ホークアイ	C2A グレイハウント	MH60 ジャコウ	P8A ポセイドン	C40A グローバスター	MH53 シュードラゴン	F16 戦闘機	A10 サンダーボルト
							
E-3 セントリー	C130 ハーキュリーズ	C17 グローブマスター	C40B 要人輸送機	C32A 要人輸送機	RC12P ヒュロン	ボeing ステアマン	ボeing ステアマン
							
US-1A 救難飛行艇	US-2 救難飛行艇	U-36 訓練支援機	EP3 テンター-収集機	U-3D 訓練支援機	OP3C 画像収集機	MH-53E シュードラゴン	MH-101
							
CH101	YS-11 輸送機	P1 対空哨戒機	C130-R	F-2 戦闘機	T4 ツールインバース	C-1 輸送機	CH47 チヌーク